

課題解決に向けて

<課題>

地域林業の振興・再生に向けて民有林・国有林が連携した低コスト林業の実践等の取組みが求められているが、地域においては、林業従事者や指導者等の人材が不足している傾向。このため、地域における林業従事者や指導者のさらなる林業技術の向上、知識の習得など特にソフト面の強化が必要。

<目的>

地域の関係機関（道、町、森林組合、事業体等）と連携した現地検討会や研修会等の開催による林業技術の向上及び低コスト化等への理解の醸成。

平成28年度実施状況

1 現地検討会や各種研修会の実施等

オホーツク総合振興局や西部森林室等が開催する現地検討会や各種研修会等に対して国有林のフィールドを提供するなど支援を行うとともに、民有林（森林組合等）や当署の若手職員の森林調査技術等の向上を図りつつ、森林施業における低コスト化の必要性などについて、現地で活発な意見交換等を実施。



2 造林作業の低コスト化に向けた民有林と国有林の連携

遠軽地区私有林のコンテナ苗植栽試験地（植栽工程調査箇所）において、各種コンテナ苗用植付器具を民有林へ貸付提供し、各器具ごとの長所や短所を含めた特性や使用方法及びコンテナ苗の活用による軽労化などの利点等を説明するとともに、オホーツク総合振興局が実施した植栽工程調査に対する人的支援等を実施。



3 市町村森林整備計画実行管理推進チームへの積極的な協力

地域の民有林関係者が危惧しているカラマツハラアカハバチ等の虫害による林業被害について、国有林と民有林が連携して予察調査を実施するとともに、GIS等を活用し発生拡大や終息予測、現状把握及び分析等のうえ、地域の林業関係者等に対して効果的に情報提供を実施。



活動成果

→ 基本的な林業技術の向上と効率的な森林施業の推進に向けた意識の醸成

→ コンテナ苗の特性や各器具特性（特に石礫地における植栽）等を実作業で普及したことによる地域理解の向上

→ 地域一丸となり、林業被害防止に向けた協力体制を構築

今後に向けて

遠軽地区林業推進協議会（地域林務会議）等への参画と低コスト化林業の推進による、さらなる地域貢献